

県内総合 建設情報 Iwate

紫波町 橋建設・トミオカJVに

赤石小の校舎増築 設計・施工の一括プロポ

紫波町はこのほど、「紫波町立赤石小学校校舎増築業務」を設計施工一括発注方式の公募型プロポーザルで実施した結果、橋建設・トミオカ共同企業体を最優秀提案者として選定した。9月中の契約を目指し、供用開始は2026年4月1日を予定している。

赤石小学校では、近年の大規模な宅地開発等に伴い、児童数が増加傾向にある。将来的に教室不足が生じるなど教育環境への影響が懸念されており、良好な教育環境の確保に向けた取り組みが求められている。町では今後、物理的に教室の確保に困難が生じることから、校舎増築を早急に進めること、将来にわたる教室不足の解消を図ることを目指し、同校の増

築を計画した。

施設整備に当たり、既存校舎を使用しながら増築工を進めていくため、工法や工程管理等の工夫が必要となる。そのため、安全性を確保しつつ短期間で効率的に整備を行う手法として、「設計・施工一括発注方式」による実現を目指し、高い技術力や豊富な経験等を有し、高い品質の確保、コスト削減、工期の短縮並びに優れたプランの提案者を公募型プロポーザル方式により選定することとした。

業務内容として、施設建築を行う。具体的な内容を見ると、教室棟増築、職員室増築、配膳室増築、エレベーター新設、既存校舎一部改修、外構整備が挙げられる。履行内容および範囲として、建築の

寺田と平館・寺田南の管路接続工事を公告

＝八幡平市＝

八幡平市は19日付で、条件付一般競争入札で実施する「寺田・平館寺田南地区機能強化対策第1号工事」を公告した。申請書の提出期限は30日正午で、入札は9月6日に行われる。（関連7面）

この工事は、農業集落排水施設の機能強化対策として、寺田地区の汚水を平館・寺田南地区の管路へ送水する接続管路を設置するもの。工事場所は八幡平市帷子地内で、施工延長は648.6m。

主な工事内容を見ると、管路布設工（管渠延長）638.8m、1号マンホール築造工6カ所、2号マンホール築造工1カ所、市道仮復旧工一式、仮設工一式など。工期は2025年3月21日までを予定している。

同市では、下水道事業経営戦略（第2版）の中で、処理場施設を統廃合することで、施設・設備の合理化を進める考えを示している。隣接処理区への距離が短く老朽化が進んでいる処理場を廃止し、隣接する処理場に接続することで、施設維持管理費の削減を図る。寺田地区処理場（02年度供用開始）と平館・寺田南地区処理場（04年度供用開始）は26年度の統廃合を目指しており、平館・寺

田南地区については、33年度に公共下水道の西根浄化センターへの接続を予定している。

このほか、34年度をめぐり、寺田地区処理場（02年度供用開始）と田頭・平笠地区処理場（10年度供用開始）の統合も予定。市では今後の人口動態も踏まえながら、さらなる施設の効率化を検討していく考えだ。

野中向橋の長寿命化

＝葛巻町＝

11月めどに工事発注

葛巻町は24年度、町道野中向線「野中向橋」の橋梁長寿命化修繕工事を実施する。地覆コンクリートの腐食部分の修繕などを想定しており、詳細設計を9月、工事を11月ごろに発注し、年度内での工事完了を目指す。

葛巻町江刈地内で馬淵川に架かる野中向橋は、1974年に架設された。橋長45.6m、幅員4.0mで、上部工形式はH型鋼桁橋、下部工は逆T式橋台。

22年度に法定点検を行った結

ニュースのお知らせ
〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33
本社編集部へ
TEL (019) 623-8201
FAX (019) 623-8204

設計およびその関連業務、建築の施工およびその関連業務、外構の設計・施工およびその関連業務、官公庁等への手続きおよび関連業務のほか、これらを実施する上で必要な関連業務を委託する。

教室棟増築は鉄骨造3階建てを想定し、延床面積が1050平方メートル程度。職員室増築は90平方メートル程度、配膳室増築は24平方メートル程度、エレベーターの新設は1基。既存校舎一部改修として児童数増加および諸室配置変更に伴う部分改修を行う。このほか、外構整備、備品調達・設置を行いたい考え。

紫波町プロポーザル選定等委員会において審査が行われ、100点満点中75点を獲得した、橋建設・トミオカ共同企業体を最優秀提案者として選定した。

履行期間として、契約締結日の翌日から26年3月27日までを最終期限とし、提案による工期の短縮を求める。9月中の契約を目指し、供用開始は2026年4月1日を予定している。

果、橋梁全体の健全度は予防保全型の「Ⅱ」だったものの、地覆部分については早期措置段階の「Ⅲ」という結果が出ていることから、長寿命化に向けた修繕工事を実施する。

9月をめぐり詳細設計、11月頃に工事を発注し、24年度内の工事完了を目指す。対策の内容については詳細設計の中で決定していくが、現時点では地覆コンクリートの腐食部分のはつりと修繕を想定している。

町では今年3月に町橋梁長寿命化中前計画を更新。町が管理する橋長2m以上の道路橋150橋を対象に、最新の点検結果を踏まえた適切な維持管理による長寿命化を図り、道路ネットワークの安全性・信頼性確保と、効果的・効率的な維持管理のためのコスト削減や予算の平準化を目指す。



野中向橋

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える

2019年台風19号の経験、教訓は活かされたのか

岩手大学地域防災研究センター教授

福留 邦洋



岩手県内の小・中学校では2学期が始まり、朝晩は虫の音色が盛んに聞こえるようになりましたが、お盆はどのようにすごされたでしょうか。この夏は、8月8日に宮崎県沖の日向灘で発生した地震を契機にした南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表され、関東から九州まで広い範囲の地域では日常生活の中で震災を意識しながら日常生活を過ごす状況となりました。東海道新幹線など列車の徐行運転や中止、海水浴場の閉鎖、旅行者の減少など社会的影響が少なからずみられました。東北からすると遠い地域の出来事だったかもしれませんが、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表された際にどのように向き合うか考えるさまざまな教訓が含まれていたと考えます。

そして岩手県では、8月12日に台風5号が上陸、通過し、県内各地で浸水や土砂災害が発生しました。久慈市下戸鎖の観測所では、48時間で450mmを超える観測史上最大の雨量を記録しました。長内川上流の滝ダムでは緊急放流が実施され緊張が高まりましたが、人的犠牲は免れました。この長内川の支流となる小屋畑川周辺地域では、2019年10月の台風19号（令和元年東日本台風）の際にも越水等による浸水被害が発生しています。久慈市の資料によると台風19号に関して久慈市内では（指定避難所への）避難者が最大時458世帯、937人だったそうです。ちなみに岩手県全体は約92万人が避難対象（避難準備情報による高齢者避難対象を含む）となりましたが、実際に指定避難所等への避難者は約1万人に止まっています。

この台風19号に関して小屋畑川の下流に位置する指定避難所への避難者について調査したところ、10月13日朝までに約70人が避難していました。対象地区では10月12日午後11時頃から降雨が強くなり、13日午前0時～3時は30mm以上/時の豪雨となっています。避難準備情報の発表とともに避難所が開設

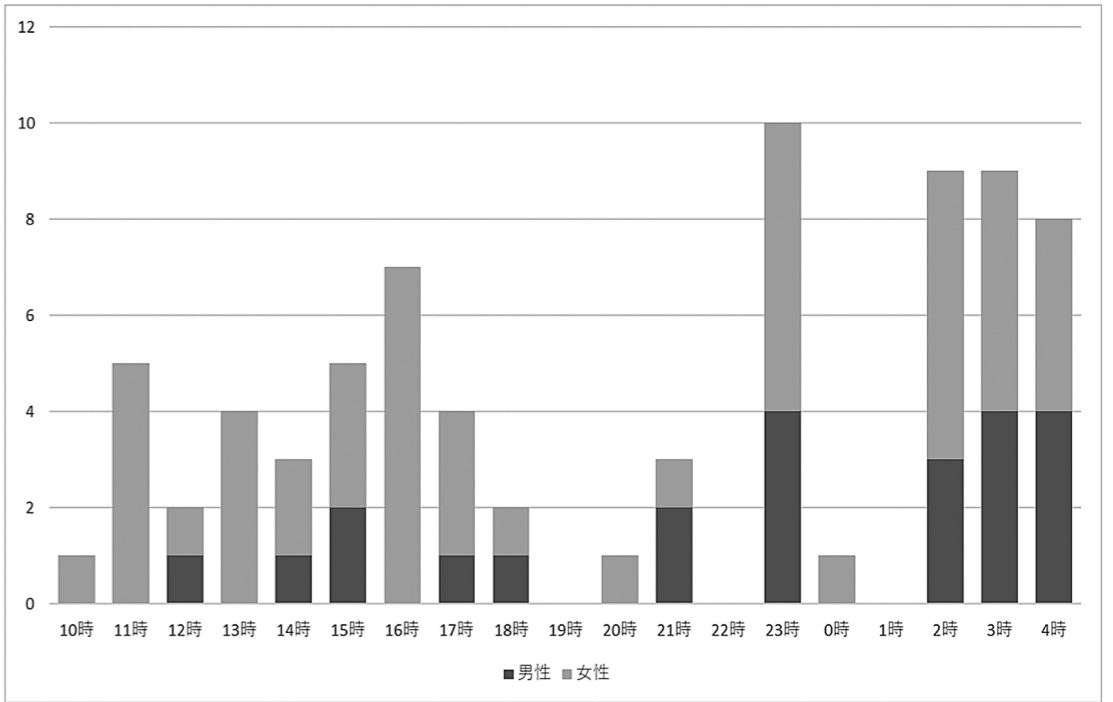
（10月12日午前10時）されたが、災害発生情報（大雨特別警報）が発表された午前2時までに避難した人は48人でした。このうち午後5時までに避難した人が27人となっています。この27人の90%以上が70歳以上であり、少なくとも半数は、家族や民生委員が避難所まで車による送迎を行っているとのことでした。一方、午後11時以降～13日明け方までに避難所へ来た避難者は37人、70歳以上

は5人ととどまります。さらに、全体を通して避難者は女性が男性の約2倍と大幅に上回っていました（図参照）。

早期避難は単身の高齢者が多く、60歳未満や家族単位のままだった避難は避難指示など状況が切迫してから行動する傾向がうかがわれました。1時間雨量30mm以上の状況において、指定避難所へ自主的に避難する住民は限られると考えられます。当時の避難所開設、運営に関わっていた市職員の話によると、10月13日未明の避難者は、消防団員や消防署員などの誘導による避難者や自動車による世帯避難者など避難せざるを得なかった住民が多かったようです。そして気になることは女性に比べて男性の避難が少なかった点です。2019年10月12日～13日の避難は土曜日から日曜日夜半となります。多くの男性においては仕事により避難できなかった、避難が遅れた理由になりません。

2019年には警戒レベルを5段階として避難情報と防災気象情報の関係を整理するなどの取り組みが行われ、早期の避難行動を促すようにしているものの、依然として災害発生前に指定避難所等へ避難する住民は限られていることがうかがわれます。2021年には災害対策基本法の一部が改正され、「避難勧告」と「避難指示（緊急）」は「避難指示」に一本化されました。警戒レベル5の「緊急安全確保」は、既に安全な避難ができない状態です。早期の避難をこころがけるとともに、近隣の学校や公民館、コミュニティセンターなど指定避難所まで移動する屋外避難（水平避難）が困難な場合は、建物の中で最も浸水しにくい上層階など垂直避難を速やかに行ってください。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

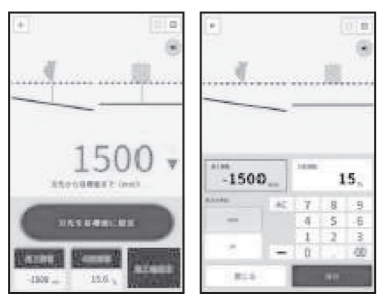


性別でみた避難所到着時間
（小屋畑川流域の避難所における避難者名簿から作成）



Smart Construction 3D Machine Guidance

「簡単3D機能」を追加



- ☑ ワンタッチで設計面設定
- ☑ どこでも簡単に3DMG施工
- ☑ 高さ・勾配を簡単に設定



トンボに合わせて目標設定
建機を降りずに高さがわかる
普段使いで効率アップ！

【簡単3D】
機能紹介動画



これからのICT施工は もっと、簡単に

レンタルの
お問い合わせ先



第一建機株式会社
本社 営業部
〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南2-9-5
☎ 019-632-3709 (担当: 佐藤)

「ペイロード機能」で過積載対策

お手持ちの油圧ショベルに後付けで
3Dマシンガイダンス・ペイロード計測を実現



商品説明動画は
こちら



購入の
お問い合わせ先



コマツ岩手株式会社
本社 営業本部
〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南2-9-5
☎ 019-638-1104 (担当: 小原)